AstraZeneca

乳がん患者さんの病院選択に関する調査

2025年12月調査

アストラゼネカ株式会社

目次

調査概要	P.3
調査結果サマリー	P.4
回答者属性	P.6
調査結果①乳がん検診の受診先決定の情報収集	P.8
調査結果②乳がん検診の受診先選択で重視される情報	P.12

調査概要

目的	• 病院選択の意思決定の質や納得度を高める要因・背景、さらに専門医による治療に結びつかない要因・背景、患者像を把握する • 以前実施した定性調査で得られた4つの要因が、病院選択の意思決定や選択時の納得度にどのようにかかわっているかを把握する
実施対象	30歳以上の乳がんと診断された、また乳がん疑いのある女性（乳がんの診断中/精密検査中の方を含む）
実施期間	2025年12月19日～2025年12月24日
実施方法	インターネット調査
調査人数	548名
調査主体	アストラゼネカ株式会社／Hatch Healthcare株式会社
調査機関	株式会社マクロミルケアネット

調査結果サマリー

調査結果サマリー

- 初回診療時の「がん診療連携拠点病院」受診割合は、がん診療拠点病院の認知によって高くなった（P.9-11）
  - がん診療拠点病院の認知率は47.1（存在も認定基準も知っていた：13.5、言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった：33.6）
  - 初回診療時のがん診療拠点病院の受診割合49.8（情報リテラシーHigh：73.4、Middle1：62.1、Middle2：37.8、Low：38.5）
- 情報リテラシー別の病院選択の納得度は、リテラシーが高くなるほど納得度が高くなった（P.16）
  - 納得度- リテラシーHigh：85.6、Middle1：79.8、Middle2：76.3、Low：65.4
  - 拠点病院の受診状況：リテラシーHigh:89%、Middle1:81%、Middle2:74%、Low：66%
- 定性調査で重要視された4項目は、項目数が増えるほど、病院選択における納得度は相対的に高くなった（P.17）
  - 病院選択に関する全体の納得度は74.6（該当数4個：80.9、3個：73.7、2個：73.7、1個：71.0、0個：69.2)
  - 2個の組み合わせでは「アクセス」と「実績」が60%を占め、3個のうちアクセス・実績・専門性の組み合わせが75%を占めた

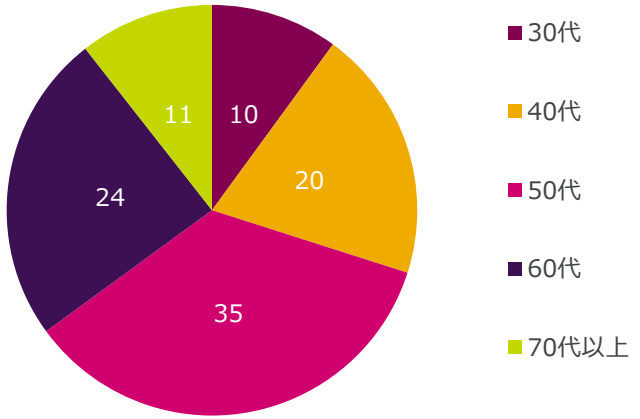
※情報リテラシー
High（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準も知っていた）
Middle1（情報収集を行えた群×がん拠点病院の言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった/全く知らなかった）
Middle2（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）
Low（情報収集を行わなかった群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）

回答者属性

回答者属性

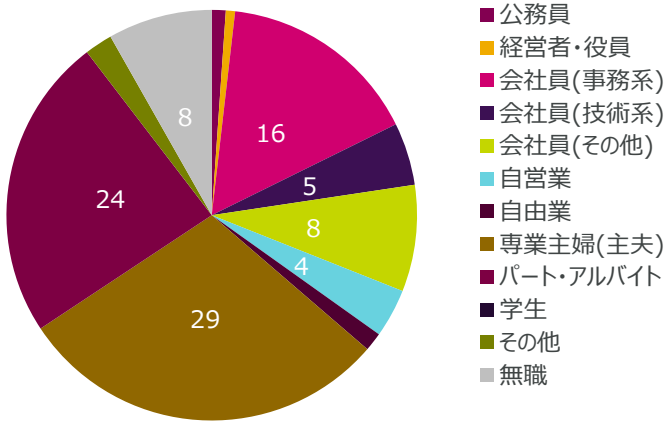
年代

※Base：ALL（n=548）
(回答割合：%)



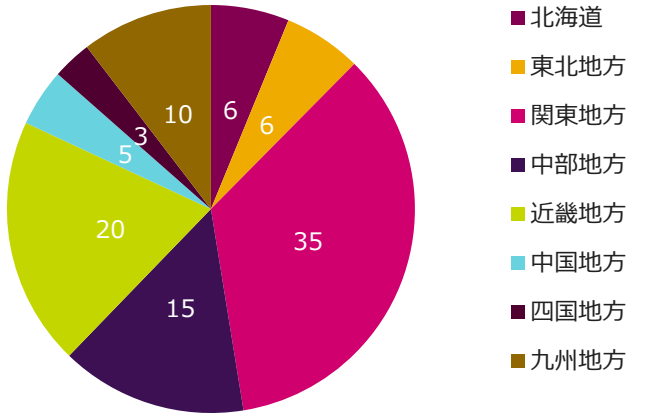
職業

※Base：ALL（n=548）
(回答割合：%)



居住地

※Base：ALL（n=548）
(回答割合：%)



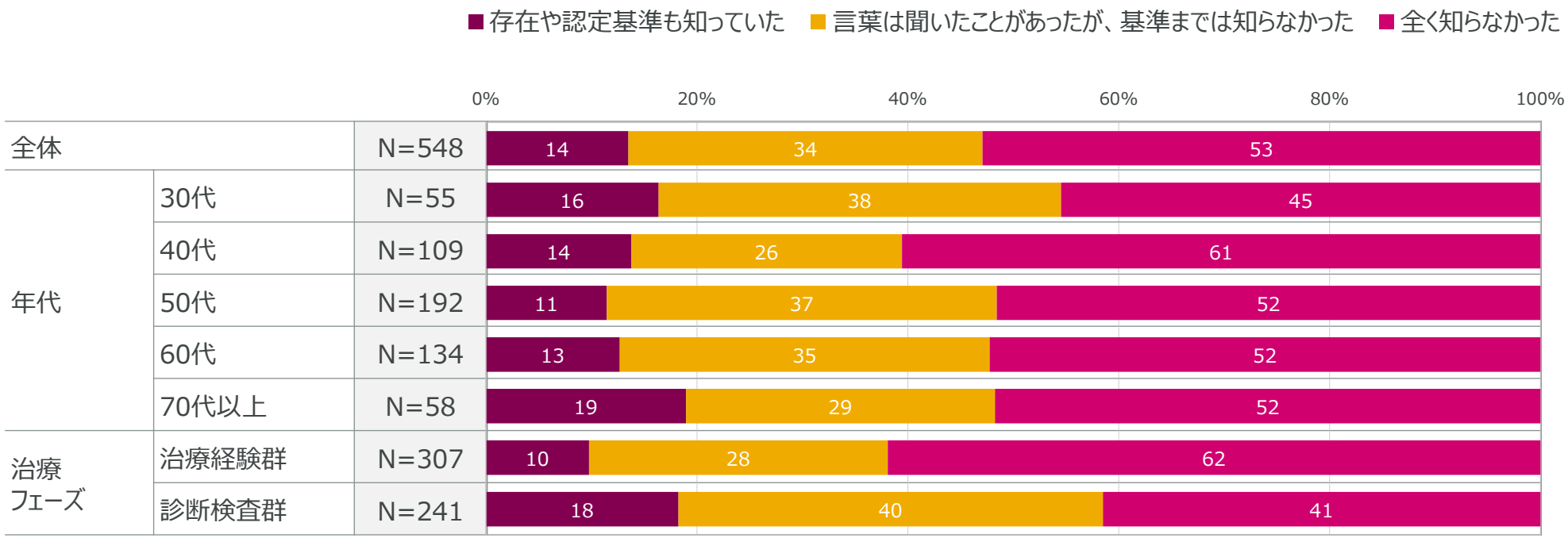
調査結果①
乳がん診療における
がん拠点・専門医療機関への受診

がん診療拠点病院の認知

- 「がん診療連携拠点病院」について、「存在や認定基準も知っていた」割合は全体で14%。「言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった」が34%で　認知率は全体で48%。年代別にみると、30代で認知率は55%と他年代に比べて高い一方、40代で39%と低い結果であった。

Q がん診断当時、「がん診療連携拠点病院」やその認定に必要な「数値基準（手術数等）」があることを知っていましたか。

※Base：ALL
(回答割合：%)

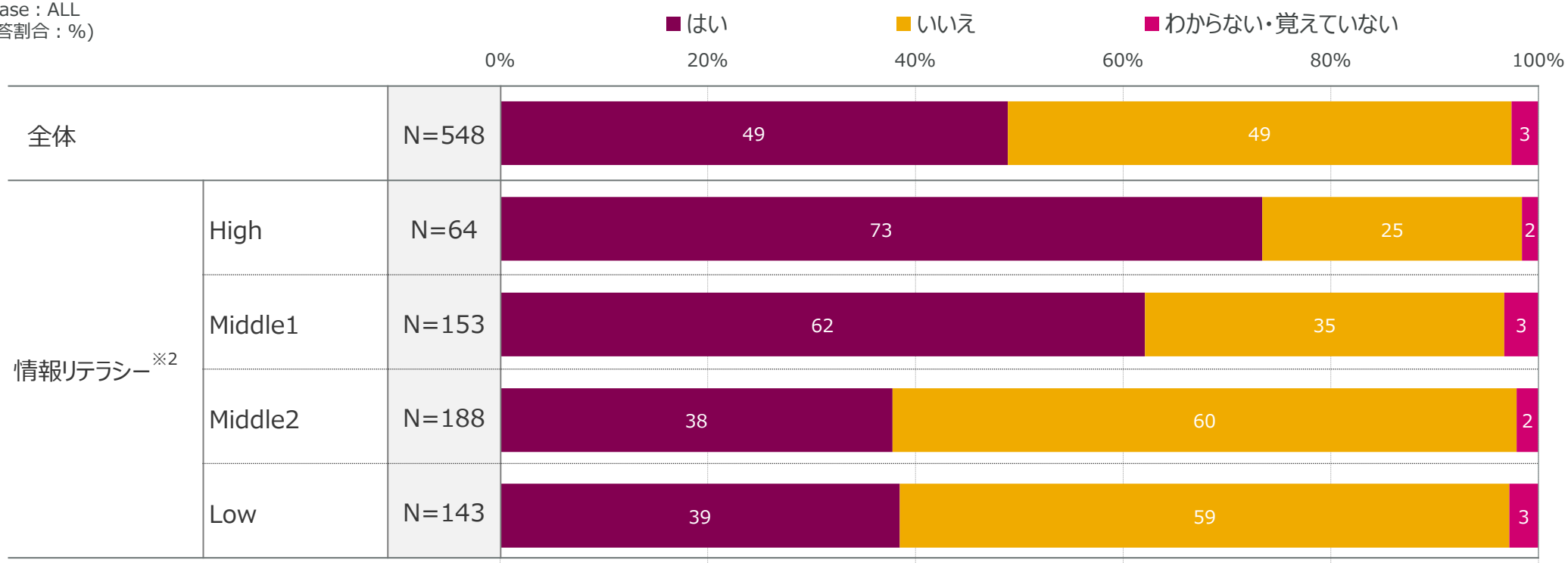


初回診療時のがん拠点・専門医療機関への受診

- 初回の診療時に「がん診療連携拠点病院」を受診した割合は全体で49%。がん診療連携拠点病院の基準や言葉自体の認知があると回答した情報リテラシーがHigh群およびMiddle1群では、73%と62%であった。
- 一方、がん診療連携拠点病院の認知がないと回答した情報リテラシーMiddle2群およびLow群では、38%と39%と低い結果であった。

Q　初回診療時に主に通院・入院していた医療機関は、下記の一覧に記載がある医療機関※1ですか。

※Base：ALL
(回答割合：%)



※1初回診療時に受診した医療機関の所在地として選択した都道府県のがん診療拠点病院および専門医療機関
※2情報リテラシー
High（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準も知っていた）
Middle1（情報収集を行えた群×がん拠点病院の言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった/全く知らなかった）
Middle2（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）
Low（情報収集を行わなかった群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）

治療開始時のがん拠点・専門医療機関への受診

- 乳がんの治療開始時に「がん診療連携拠点病院」を受診した割合は全体で75%。
- 情報リテラシーHigh群、Middle1群、Middle2群、およびLow群では、89%、81%、74%、66%と情報リテラシーに関連して低い結果であった。

Q 治療開始時に主に通院・入院していた医療機関は、下記の一覧に記載がある医療機関※1ですか。

※Base：治療群
(回答割合：%)



※1初回診療時に受診した医療機関の所在地として選択した都道府県のがん診療拠点病院および専門医療機関
※2情報リテラシー
High（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準も知っていた）
Middle1（情報収集を行えた群×がん拠点病院の言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった/全く知らなかった）
Middle2（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）
Low（情報収集を行わなかった群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）

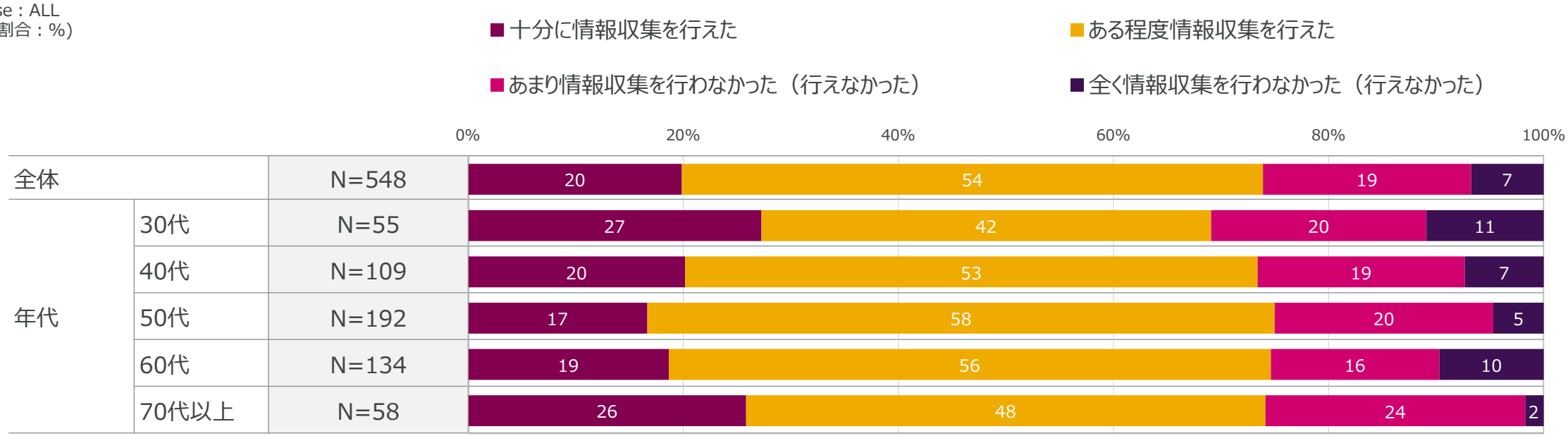
調査結果②
乳がん検診の受診先選択における情報収集の実態

乳がん検診受診先に関する情報収集活動の状況

- 情報収集を「十分に行えた」「ある程度情報収集を行えた」と回答した人は20%と54%であったのに対し、「あまり情報収集を行わなかった（行えなかった）」「全く情報収集を行わなかった（行えなかった）」と回答した人は19%と7%だった。
- 「十分に情報収集を行えた」と感じている割合は特に30代と70代以上に多い。

Q 医療機関情報に関する情報収集について、あなたご自身に最も当てはまるものを1つお選びください。

※Base：ALL
(回答割合：%)



			十分に情報収集を行えた	ある程度情報収集を行えた	あまり情報収集を行わなかった（行えなかった）	全く情報収集を行わなかった（行えなかった）
全体		N=548	20	54	19	7
年代	30代	N=55	27	42	20	11
	40代	N=109	20	53	19	7
	50代	N=192	17	58	20	5
	60代	N=134	19	56	16	10
	70代以上	N=58	26	48	24	2

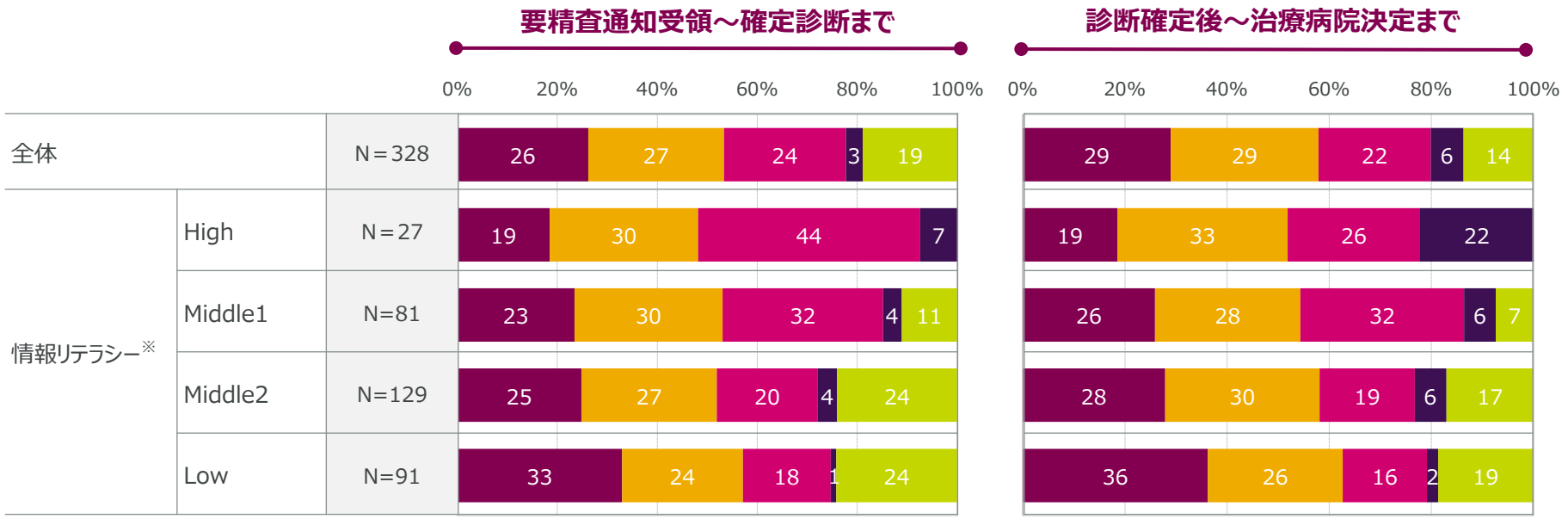
乳がん検査受診前から医療機関決定までに重視していた情報

- 医療機関選択時に重視する情報として、アクセスの割合は、検査通知受領～確定診断まで26%、確定診断後は29%であった。
- 医療機関選択時に重視する情報として、実績と専門性の合計割合は、検査通知受領～確定診断まで27%と24%、確定診断後は29%と22%であった

Q 以下の時期ごとに、「最も重視して探していた情報」を1つずつお選びください

※Base：初回治療開始以降のフェーズ回答者
（回答割合：%）

■アクセス（自宅や職場から病院への距離や時間）
■専門性（常勤する乳腺外科医やがん専門看護師の人数、学会発表の数、など）
■とくになし
■実績（乳がんに関する手術実績や治療経験数）
■サポート（がん相談支援センターの設置状況や、医師とのコミュニケーションのしやすなど）



※情報リテラシー
High（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準も知っていた）
Middle1（情報収集を行えた群×がん拠点病院の言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった/全く知らなかった）
Middle2（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）
Low（情報収集を行わなかった群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）

医療機関選択の納得度スコアの算出方法

- 病院選択の納得度スコアとして下記の方法で定義した

1.指標の算出方法
総合スコア（100点満点） ＝ （A.プロセス＋B.結果＋C.推奨意向NPS）÷3
※病院選択の意思決定における「過程」「結果満足度」「推奨度」を均等に反映

2.設問構成要素と該当設問
A～Cの項目を各100点満点で算出し、その平均値を納得度の総合スコアとした

3.点数化
■A.プロセス／B.結果満足度（5段階評価の換算）
回答選択肢を等間隔で点数化し、各項目の平均値を算出
100点 ： あてはまる ／ 満足している
75点 ： ややあてはまる ／ やや満足している
50点 ： どちらともいえない
25点 ： あまりあてはまらない ／ あまり満足していない
0点 ： あてはまらない ／ 満足していない

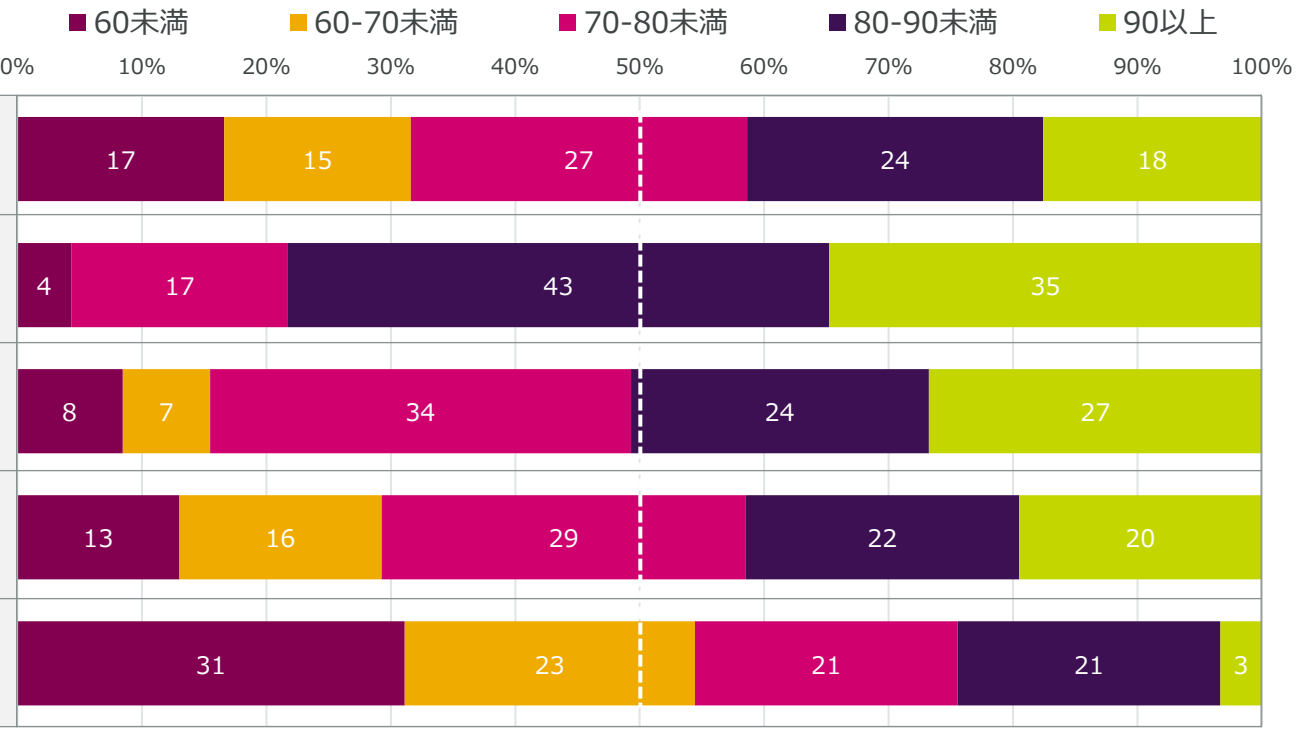
■C.推奨意向 （0-10点評価の換算）
NPSの回答数値を10倍し、100点満点に換算
100点（10点回答）～50点（5点回答）～0点（0点回答）

構成要素	評価ポイント	該当設問項目
A.プロセス	病院選択のプロセスにおいて、十分な情報と納得感をもって病院選定ができたかどうか	下記3項目の平均値
		1：「病院を決めるために必要な情報は十分に集められた」
		2：「自分のペースで、納得いくまで検討することができた」
		3：「誰かに言われたからではなく、自分で納得して決めた」
B.結果満足度	選択した医療機関での体験（治療・関係性・通院環境）に満足しているか	下記3項目の平均値（※治療に伴う身体的な負担は除外）
		1：治療の内容
		2：医師・医療従事者との関係・相性
		3：通院の利便性・環境
C.推奨意向（NPS）	他者にも自分が通う医療機関を勧められるか	NPSへの回答値 (NPS:他者への推奨度、0～10点の11段階評価)

医療機関選択の納得度スコア

- 納得度スコア平均は全体平均74.6だった。
- 情報リテラシーHigh群の平均値は85.6であり、Middle1群、Middle2群、Low群はそれぞれ79.8、76.3、65.4であった
- 80以上のスコアの割合は、情報リテラシーHigh群で78%、Middle1群で51%、Middle2群で42%、Low群で24%であった

※Base：治療経験がある方
(回答割合：%)



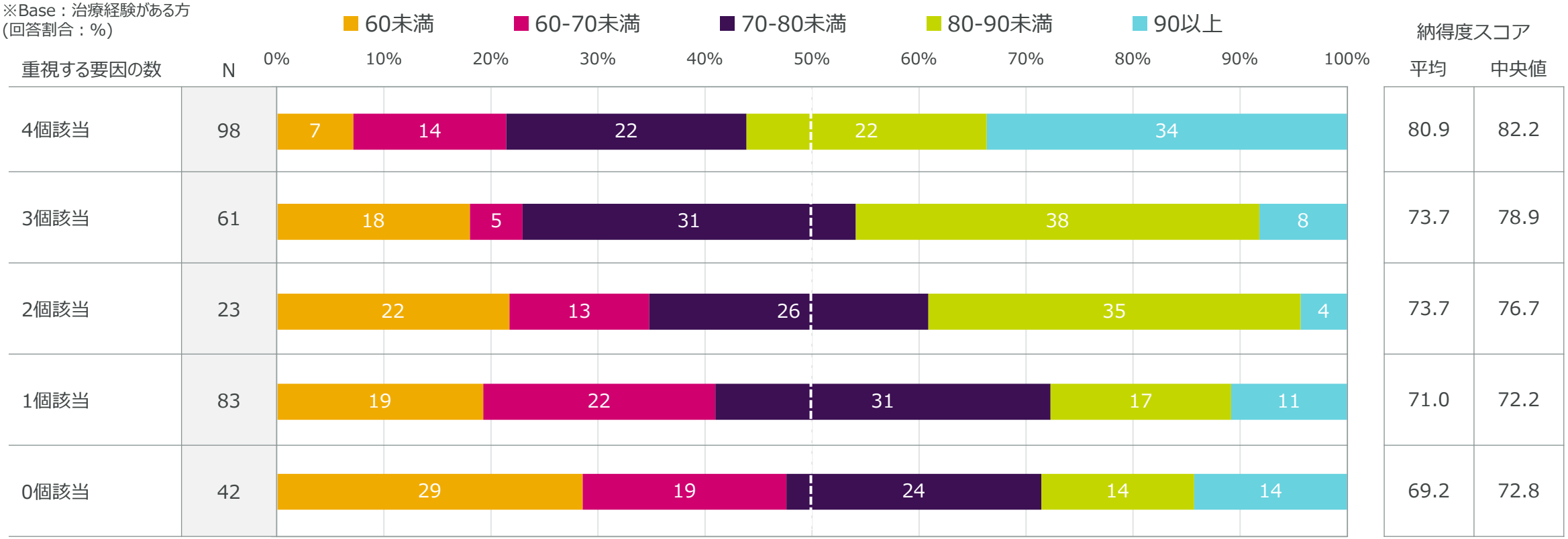
			納得度スコア 平均値	中央値
全体	N=307	17 / 15 / 27 / 24 / 18	74.6	77.2
情報リテラシー※ High	N=23	4 / 17 / 43 / 35	85.6	87.2
情報リテラシー※ Middle1	N=71	8 / 7 / 34 / 24 / 27	79.8	80.0
情報リテラシー※ Middle2	N=123	13 / 16 / 29 / 22 / 20	76.3	77.2
情報リテラシー※ Low	N=90	31 / 23 / 21 / 21 / 3	65.4	67.8

※情報リテラシー
High（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準も知っていた）
Middle1（情報収集を行えた群×がん拠点病院の言葉は聞いたことがあったが、基準までは知らなかった/全く知らなかった）
Middle2（情報収集を行えた群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）
Low（情報収集を行わなかった群×がん拠点病院の存在や認定基準を知らなかった/全く知らなかった）

医療機関選択で重視した要因数別の納得度スコア

- 病院選択において4つの要因※をすべて重視したと回答した人の納得度スコアの平均値は80.9であり、3個、2個、1個、0個の場合、それぞれ73.7、73.7、71.0、69.2であった

※Base：治療経験がある方
(回答割合：%)



重視する要因の数	N	60未満	60-70未満	70-80未満	80-90未満	90以上	納得度スコア 平均	納得度スコア 中央値
4個該当	98	7	14	22	22	34	80.9	82.2
3個該当	61	18	5	31	38	8	73.7	78.9
2個該当	23	22	13	26	35	4	73.7	76.7
1個該当	83	19	22	31	17	11	71.0	72.2
0個該当	42	29	19	24	14	14	69.2	72.8

※4つの要因
アクセス（自宅や職場から病院への距離や時間）
実績（乳がんに関する手術実績や治療経験数）
専門性（常勤する乳腺外科医やがん専門看護師の人数、学会発表の数、など）
サポート（がん相談支援センターの設置状況や、医師とのコミュニケーションのしやすなど）